

こおりやま 市議会だより



第198号 - 令和3年9月定例会 -



秋晴れの所庭で遊ぶこどもたち
(開成保育所)



発行日：令和3(2021)年11月1日
発行：郡山市議会
編集：郡山市議会広聴広報委員会
〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号
TEL 024-924-2521 FAX 024-938-2810
メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp

主な掲載内容

議長・副議長就任あいさつ、委員会の紹介	2頁
9月定例会のあらまし、常任委員会の審査状況	3頁
議決結果等	4頁
決算特別委員会	5頁
議会PDCAサイクル	6頁
市政一般質問	7～16頁
議会報告会開催案内	18頁

就任あいさつ

議会運営委員会・常任委員会の紹介



議長 塩田 義智

自由かつ達な開かれた議会運営を
9月定例会において第31代議長に就任し、その使命と重責に身の引き締まる思いであります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化している中、市民の安全・安心な生活を一日も早く取り戻すことを最優先に全身全霊で取り組んでまいります。

さらに、議会としてのチェック機能や政策立案能力を高め、議員同士が議論を深めながら、開かれた議会運営に努める所存でありますので、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 但野 光夫

議長といつも円滑な議会運営を
議員各位の御推挙により副議長という要職に就かせていただき、職責の重さを痛感しております。

昨今の自然災害や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、本市議会として、市民の皆様の声に耳を傾けながら、市民の安全・安心を第一の課題と捉え、全力で取り組んでまいります。

塩田議長とともに、市政の進展と円滑な議会運営のために、最善の努力を尽くしてまいりますので、皆様の御指導と御協力を心からお願い申し上げます。

議会運営委員会とは

議会を円滑に運営するための順序や進め方などを協議するため設置している常設の委員会です。

常任委員会とは

予算・条例などの議案や、請願などを専門的かつ効率的に審査するために設置している常設の委員会です。

本市には4つの常任委員会があります。

※各委員の任期は2年です。

議会運営委員会

- 佐藤 徹哉 (委員長)
- 會田 一男 (副委員長)
- 森合 秀行
- 飯塚 裕一
- 佐藤 栄作
- 大木 進
- 折笠 正
- 良田金次郎
- 佐藤 政喜
- 小島 寛子

建設水道常任委員会

- 副委員長 委員長
- 村上 晃一
 - 柳田 尚一
 - 吉田 公男
 - 山根 悟
 - 近内 利男
 - 栗原 晃
 - 佐藤 徹哉
 - 會田 一男
 - 名木 敬一

総務財政常任委員会

- 副委員長 委員長
- 但野 光夫
 - 佐藤 栄作
 - 岡田 哲夫
 - 森合 秀行
 - 石川 義和
 - 遠藤 敏郎
 - 今村 剛司
 - 八重樫小代子
 - 佐藤 政喜

文教福祉常任委員会

- 副委員長 委員長
- 廣田 耕一
 - 福田 文子
 - 箭内 好彦
 - 飯塚 裕一
 - 大木 進
 - 鈴木 祐治
 - 大城 宏之
 - 小島 寛子
 - 高橋 善治

環境経済常任委員会

- 副委員長 委員長
- 良田 金次郎
 - 蛇石 郁子
 - 渡部 龍治
 - 三瓶 宗盛
 - 折笠 正
 - 七海 喜久雄
 - 田川 正治
 - 諸越 裕
 - 久野 三男

※議席順

令和3年9月定例会のあらまし

新型コロナウイルス感染症等緊急支援給付金に要する経費を含む一般会計補正予算など議案33件、議案1件を可決、令和2年度決算等議案34件を認定

9月定例会を、9月2日から9月30日までの29日間にわたり開催しました。

初日は、会期の決定、諸般の報告に続き、市長が提出議案の提案理由を述べた後、副市長選任の人事案件に全会一致で同意しました。

その後、議長、副議長を新たに選出し、各委員会委員の改選、郡山地方広域消防組合議会議員の選出を行い、監査委員選任の人事案件2件に全会一致で同意しました。

8日から13日までは、17人が市政一般質問を行いました。

14日と15日は、4つの常任委員会で、付託された議案29件と請願2件を審査しました。

17日の本会議では、各常任委員会から審査結果の報告を受け、賛否が分かれた議案等

について3人の議員から賛成・反対の討論がありました。

採決の結果、議案28件を全会一致で可決・承認したほか、一般会計補正予算(第7号)の議案を賛成多数で可決、請願1件を全会一致で採択、1件を賛成少数で不採択とし、意見書の議案案1件を全会一致で可決しました。

27日から30日までは、決算特別委員会を開催し、追加提出された令和2年度決算認定等議案34件を審査しました。

最終日となる30日の本会議では、決算特別委員会から審査結果の報告を受けた後、令和2年度決算認定等議案34件を全会一致で可決及び認定し、追加提出された人事案件1件に全会一致で同意しました。

常任委員会の審査状況

総務財政常任委員会

問 福島県沖地震により被災した集会所に対する支援は。

答 地域集会所補助事業として、今年度内に修繕を行う予定の下白岩集会所、静コミュニティセンター、七ツ池地区集会所、下館第二集会所、牛ヶ池集会所、板橋集会所を管理する町内会に対し、補助対象経費の3分の2以内を限度として、助成を行う。

環境経済常任委員会

問 新型コロナウイルス感染症等緊急支援給付金は、どのような業種の事業者が対象になるのか。

答 宿泊業者や飲食サービス、飲食加工、酒造、割箸やおしぼり、器材を卸す業者、クリーニング業者、生産者、タクシー業者、映画館、公衆浴場、土産屋、雑貨屋など、幅広い業種を想定している。

建設水道常任委員会

問 道路の補修や水路側溝の整備に対する市民の要望状況と、市の対応状況は。

答 道路や水路への要望は大変多く、全体で1千件以上あるうち、水路側溝の要望は700件程度で、その2割程度には対応できている。

計画的に補修整備を進め、また、緊急性の高いものは速やかに対応している。

文教福祉常任委員会

問 コロナ禍における婚活応援として、県のオンライン型マッチングシステムの登録者を支援することだが、周知はどのように行うのか。

答 本事業は、男女の婚活支援のため、県のマッチングアプリ「はぴ福なび」の登録料の半額を補助するものである。市広報紙やウェブサイトを、SNSを活用し周知していく。

賛否が分かれた議案等

賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。

件名	議決結果	会派の賛否（志翔会は、議長を除く。）										
		志翔会	新政治会	郡山市議会公明党	緑風会	立憲・社民フォーラム	自由民主党郡山市議団	日本共産党郡山市議団	虹とみどりの会	無所属の会	立憲民主党	国民民主党
		8人	8人	4人	4人	3人	3人	2人	1人	1人	1人	1人
補正予算 一般会計（第7号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
請願 台風による水害対策として浸水区域の上流域にある旧豊田貯水池を活用して雨水貯留施設を整備するなど内水の治水対策の強化について	不採択	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○

全会一致で可決した議案等

補正予算	一般会計（第8号）	国民健康保険（第2号）、後期高齢者医療（第2号）、介護保険（第2号）、県中都市計画富田第二土地区画整理事業（第1号）、工業団地開発事業（第1号）、熱海温泉事業（第1号）、母子父子寡婦福祉資金貸付金（第2号）、湖南簡易水道（第1号）、中田簡易水道（第1号）、財産区（多田野、河内、片平、月形、舟津、館、浜路、横沢、中野、後田）（第1号）
制例	制定	道路法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例
制例	改正	郡山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

改正	郡山市保育所条例
改正	郡山市立公民館条例
その他	工事請負契約（河内埋立処分場第一污水处理施設大規模改修工事、伊賀河原土地区画整理事業橋梁整備工事）
その他	財産の取得（小型動力ポンプ積載車）
その他	郡山市副市長の選任
その他	郡山市監査委員の選任
その他	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること
その他	令和2年度一般会計歳入歳出決算認定等34件
その他	専決処分の承認を求めること

採択した請願

次の請願を全会一致で採択しました。

- 国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める請願

可決した意見書

次の意見書を全会一致で可決しました。

- 国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見書



各議員の賛否や請願・意見書は、市議会ウェブページを御覧ください。



令和2年度 決算特別委員会

令和2年度予算について、適正かつ効果的に執行されたか、健全な財政運営がなされているかなどを審査しました。審査においては、上下水道事業経営審議会について、水道事業会計の決算状況について、種々質疑が交わされました。また、安積永盛駅西口広場、河内埋立処分場（第4期埋立地）、田村町大善寺地区頭首工（農業用施設）の現地調査も行いました。

決算認定等議案34件については、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。

決算とは

市長は毎年度、法令に基づき各会計決算の認定議案を議会に提出します。

本市議会では、9月定例会で決算特別委員会を設置し、審査します。

決算特別委員会の委員は、議長及び議会選出の監査委員を除いた全議員で構成しています。



現地調査（河内埋立処分場）



現地調査（安積永盛駅西口広場）



書類審査

問 市民生活や事業経営に大きな影響を及ぼす水道料金等の改定について、上下水道事業経営審議会に諮問し、審議を行ったが、開催回数を含め審議日程は妥当であったのか。

答 当審議会は、令和2年10月の中間答申に向け、同年4月から計4回の審議会を開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響で第一回は書面開催となったが、「社会情勢や市民生活に与える影響を十分考慮した料金等のあり方について検討を重ねるため、1年間は現行の料金等とし、引き続き審議することが適当である」との中間答申(案)をまとめ、10月30日に市長に中間答申を行った。

会議の開催にあたり会議資料を事前に送付するなど、十分な審議時間は確保しており、審議日程は適当であったと考えている。

問 水道事業会計決算は、当初見込みを5億円上回る18億円余の黒字決算となっているが、平成29年度の料金引下げの影響をどう判断しているのか。

答 料金引下げ前と比較し、令和2年度決算においては、給水戸数が増加した一方、給水収益はマイナス3.7%、2億6千788万円減少の70億4千570万円、純利益についてもマイナス16.3%、3億5千247万円減少した。

令和2年度は、気候変動による自然災害や地震への対応、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化による市民生活及び産業構造への影響など、水需要を取り巻く環境の変化に対し、適切に対応してきた。

また、同規模の中核市と比較しても健全な経営環境にあると認識している。

議会PDCAサイクル

議会としてのチエック機能を果たすため、常任委員会で事業の進捗報告の聴取と評価を行うPDCAサイクルを行っています。

今定例会で次のとおり今年度の対象事業を選定し、今後、定例会ごとに当局からの報告を受ける予定です。

- 総務財政常任委員会
 - ・ (仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業
 - ・ 旧豊田貯水池利活用事業
- 建設水道常任委員会
 - ・ 通学路安全対策事業
- 環境経済常任委員会
 - ・ 農業用施設整備事業 (ため池等の整備)
 - ・ 多面的機能支払交付金事業 (農地保全等による治水対策)
- 文教福祉常任委員会
 - ・ 保育所ICT化推進事業
 - ・ 統合型校務支援システム

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～



	請 願	陳 情
受 付	市政一般質問初日の午後5時まで ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時まで ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●陳情書の写しを各議員に配付します。

請願書

年月日

郡山市議会議長様
(請願者住所)
(請願者氏名) ㊟
(紹介議員) ㊟

〇〇〇について
請願趣旨
請願事項

紹介議員が
必要

紹介議員は
不要

陳情書

年月日

郡山市議会議長様
(陳情者住所)
(陳情者氏名) ㊟

〇〇〇について
陳情趣旨
陳情事項

議会の豆知識【議決とは】

議会で、議案などに対する可否（賛否）を決定することです。意思決定の内容により、次のような種類があります。

- ・ 可決（否決） …… 「予算、条例、意見書等」に関する議案
- ・ 認定（不認定） … 「決算」に関する議案
- ・ 承認（不承認） … 「専決処分」に関する議案
- ・ 同意（不同意） … 「人事案件」に関する議案
- ・ 採択（不採択） … 「請願」



※関連項目：定例会のあらまし(3頁)、議決結果等(4頁)、決算特別委員会(5頁)

令和3年9月定例会 市政一般質問

● 今回の質問者数 17名

● 掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。

● 記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

● 会議録

市ウェブサイトや次の施設で御覧いただけます。

- ・ 市政情報センター(市役所本庁舎1階)
- ・ 希望ヶ丘図書館・安積図書館
- ・ 富久山図書館

なお、令和3年9月定例会の会議録が御覧いただけるのは、令和3年12月上旬になります。



会議録検索システム

郡山駅東口周辺地区が有するポテンシャルについて



自由民主党郡山市議団

村上 晃一 議員



問 今後の都市づくりを進める上で、駅東口周辺地区が有するポテンシャルをどのように認識しているのか。

答 駅周辺地域は、こおりやま広域圏の中心拠点として市立地適正化計画で、高次の都市機能集積を促進する地域に位置付けている。

特に、駅東地域には、教育・研究機関など多様な施設が立地しており、駅東西地域の均衡ある発展に向け、土地の高度利用や交通体系の更なる充実を図ることとしており、交通結節機能強化や環状道路網の構築に向け取り組んでいる。今後も、土地所有者等の意見を聞きながら、市に求められている役割等が発揮できる「まち」となるよう努める。

通学路危険箇所点検状況について

問 通学路の危険箇所の把握をはじめとする点検状況は。

答 道路管理者、学校、PTA等による合同点検を令和2年度末までに延べ689か所実施し、567か所に対して道路管理者等が対策を行ってきた。

今年度は、7月末までに学校から要望のあった19か所について合同点検が済んでいる。さらに、千葉県の事故を受け「事故に至らなくてもヒヤリハット事例があった箇所」等の3つの観点を踏まえ、改めて危険箇所の抽出、報告を受けたところであり、今後、合同点検について関係機関と協議して対応していく。





無所属の会

やない
筋内

よしひこ
好彦 議員



養育費確保支援について

問 明石市では、養育費の受け取りをサポートする養育費立替パイロット事業や、受け取れていない養育費を市が立て替えることなどの養育費緊急支援事業などを実施している。本市でも実施を検討しては。

答 昨年8月に実施したひとり親世帯等意向調査において、離婚時に養育費の取り決めた人は47.9%にとどまっている。

子どもが受ける経済的不利益を軽減するため、先進他市が実施している事業を参考に、子どもの手元に養育費が確実に届く支援の充実に努めていく。



本市への夜間中学設置について

問 県が財政支援の上、市町村に公立夜間中学を設置するとの報道があったが、市立となれば種々の運営負担が伴い、本市の本気度が試される。

本市に夜間中学を是非とも設置してほしいと考えるが、本市への設置について、現在どのように考えているのか。

答 様々な事情による義務教育未修了者や外国籍者などが夜間中学で学ぶ機会を得ることとは重要であると認識しており、本市のみならず、隣接する市においてもニーズが存在することから、市町村の垣根を越えた県立での夜間中学を交通の便のよい本市に設置することが望ましいと考えている。



志翔会

おおしろ
大城

ひろゆき
宏之 議員



本市の財政調整基金について

問 近年多発している災害に加え、コロナ禍により、多くの自治体が非常に厳しい財政状況にあるが、本市の財政調整基金の現状をどのように捉え、どのような場合に基金を取り崩す考えなのか。

答 本定例会後の残高見込額117億7千91万3千円は、標準財政規模の16.7%となり、適正水準の範囲を維持している。

経済事情等による財源不足や災害の経費など、基金を処分することができる要件を定めており、令和元年度は約84億円、令和2年度は約63億円、今年度は9月補正予算までで約53億円を活用している。

今後も基金の適正な規模を確保し、健全な財政運営に努め、有効に活用していく。

飲食店への抗原検査キットの無償配布について

問 飲食店従事者の不安感払拭等、新型コロナウイルス感染症対策への支援として、抗原検査キットの無償配布を検討すべきと考えるが見解は。

答 国の通知では、飲食店と医療機関との連携等を行うこととなっており、適切な検査体制の確保等にも課題がある。

飲食店従業員に対しては、昨年10月から予約制でのPCR検査を実施してきたが、7月からドライブスルー方式に変更し、予約が不要で個人でも匿名で受検ができ、陽性者も確認されたことから、ドライブスルー方式を推進していく。





立憲・社民フォーラム

飯塚 裕一

議員



学校司書のあり方や雇用形態のロードマップについて

問 教育委員会として今後どのようなスケジュールで、方向性や結論を得ていくのか。

答 現在、各学校の校長による学校司書に対しての聞き取り調査を行う準備を進めているところである。

その結果や今後の学校図書館のデジタル化も視野に入れ、学校司書の雇用形態や資格要件などについて、10月以降、学校図書館のあり方に関する懇談会における検討や、中学校長会、市PTA連合会と協議を行い、今後の方向性を検討していく。



おくやみコーナーの開設時期等について

問 開設時期をいつに設定し、作業を進めているのか、開設までのロードマップは。

答 9月中には、死亡届を受理する市民課が中心となり、手続き該当者の数が多い国民健康保険課、介護保険課と連携し、3課6種類の手続きをスマートフォンとして取り組み、手続きに要した時間等を把握するなど、効果を検証することとしている。

また、この取組みに並行して、全庁的に死亡に伴い発生する手続き約70種類のBPR※を実施しながら、令和4年2月には、検証結果を踏まえ、取扱いを拡大していく。

※BPR（業務プロセスの再構築）：事業全体の内容・流れを効率性の観点から分析し、最適となるよう再設計すること。



立憲民主党

吉田

公男



令和元年東日本台風における決壊の危険の通知について

問 市長は、令和元年10月13日1時23分に石淵地区で氾濫が起こっていると国から連絡を受けたが、災害発生情報レベル5を發出しなかった。

石淵・横塚地区等の住民に本市は決壊の危険をどのように通知したのか。

答 阿武隈川流域を対象に、12日13時に警戒レベル3避難準備・高齢者等避難開始、15時に警戒レベル4避難勧告、16時40分に警戒レベル4避難指示を発令し、23時20分には避難指示を追加発令した。

13日0時43分には、流域全体を対象に避難指示、さらに、阿武隈川等の越水が確認され、1時8分に警戒レベル5災害発生情報を発令するなど、要所で住民避難情報を発令した。

流域治水の考え方について

問 「流し切るからいったん貯める」への政策転換を更に進め、旧豊田貯水池の活用や田んぼダムを含め総合的に推進すべきと考えるが、貯留機能をどの程度必要と考え、整備しようとしているのか。

答 具体的な整備内容や規模については、国・県・流域市町村が共同で策定する流域水害対策計画で示すこととなる。流域治水の取組みについては、阿武隈川上流部への遊水地の整備や利水ダムの事前放流、田んぼダムの普及促進や農業用ため池の事前放流などの貯留機能を向上させる対策を実施していく。



浸水する住宅地



立憲・社民フォーラム

八重樫 小代子 議員



高齢者のワクチン接種について

問 これまでも65歳以上の市民が早く接種したくても、「主治医がいらない」や「何十回電話しても予約できない」などの声があつたが、まだ、予約・接種できていない高齢者の実態把握と対応は。

答 8月以降は64歳以下の市民と等しく接種しており、9月7日現在で1回目の接種が7万8千653人で高齢者全体の87.0%、2回目の接種が7万6千676人で84%となった。

現在、11月末に市民全体の約80%が接種を完了できるよう取り組んでおり、全体の進捗状況をみながら、未接種の高齢者の対応を検討していく。



特別な配慮を必要とする児童の集約について

問 本市は面積が広域であり、障がい児及び特別な配慮を必要とする児童を限られた公立保育所の拠点施設に集約すべきではないと考えるが見解は。

答 障がいのある児童や特別な配慮や支援が必要な児童も、保護者が希望する施設への入所が前提となることから、限られた拠点施設へ集約する考えはない。

しかし、特別な支援を要する児童について、公立保育所は行政機関として積極的に支援に取り組むべきであると考へており、公立保育所において蓄積された知識や技術、経験に基づく知見を民間施設と共有し、市全体の支援体制強化の拠点としての役割を果たしていく。



郡山市議会公明党

田川 正治 議員



道路メンテナンス事業補助制度の活用について

問 自治体が策定する長寿命化修繕計画に基づき実施される道路メンテナンス事業に対し、令和2年度に創設された国の補助制度の活用計画は。

答 補助制度を活用し、昨年度から笹川二丁目の大黒橋ほか3橋の補修工事と192か所の点検を事業費2億3千万円で実施し、今年度は6橋の補修工事と197か所の点検を事業費6億円で実施している。

来年度は、6橋の補修工事と151か所の点検事業費を国へ要望しており、引き続き、制度を積極的に活用することで、橋梁の長寿命化を図るとともに、防災対策として透水性舗装や無電柱化などを進める。

ボトルディスプレイ式水飲栓の設置について

問 市庁舎に設置されている直接水を飲む古いタイプの冷水機を、マイボトルに水をくむことのできる水飲栓に更新しては。

答 現在、市庁舎には7台の冷水機と、マイボトルの使用も可能な災害対応型のウォーターサーバーを、本庁舎と西庁舎に各1台設置している。

ボトルディスプレイ式水飲栓は、マイボトルの利用促進によるペットボトルの削減や熱中症対策に有効であると認識していることから、利用者が多い本庁舎と西庁舎の1階に、実証的に設置する。



災害対応型のウォーターサーバー



日本共産党郡山市議団

おかだ てつお
岡田 哲夫 議員



PCR検査の拡充について

問 県境をまたぐ移動をした市民や県外からの帰省者などを対象にPCR検査を実施するため、郡山駅構内にPCR検査施設を設置しては。

答 PCR検査は、医療従事者等の管理のもと実施し、検査結果の判明には半日から2日程度の時間を要することから、医療関係者等の人員や待機場所確保等の課題がある。これまで同様、PCR検査については、感染者の疫学調査により濃厚接触者等を把握し、感染状況に応じた効果的な検査を実施するほか、クラスターの発生の恐れがある場合には、的を絞って飲食店や高齢者施設に対しPCR検査を実施するなど、今後も必要な検査を実施していく。

補聴器購入への補助制度について

問 高齢者など軽度・中等度難聴者にとって、社会生活を営むには補聴器は必需品である。補聴器購入への補助制度の創設は、高齢者の社会参加への大きな支援となると考えるが、見解は。

答 中等程度難聴の高齢者は、国の助成制度の対象とはならないことから、補聴器の購入及び修理費用が経済的に重い負担になるものと推察する。今後の国の動向を注視するとともに、高齢化の進行に伴う本市高齢者施策全体の持続可能性等も考慮しながら、引き続きその必要性について検討していく。



市議会ウェブページ

本会議や委員会の会議録、市議会中継などが御覧いただけます。詳しくは郡山市ウェブサイトのトップページから、「郡山市議会」をクリックするか、「郡山市議会」で検索してください。



郡山市ウェブサイトアドレス
<https://www.city.koriyama.lg.jp/>

郡山市議会

検索



市議会ウェブページ
QRコード

郡山市議会

定例会日誌 議会中継 会議録検索

新型コロナウイルス対応に係る議事運営の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、議員・職員をはじめ、議会を担われる市民の皆様の安全と感染予防を図るため、市議会の会議（本会議、委員会等）においては、以下の取り組みを実施することとしましたのでお知らせします。皆様のご理解とご協力をお願いします。

議事運営の取り組みについて（令和2年4月30日）(PDF:49.3KB)

議長・副議長	市議会議員名簿
議長名簿	五十歳未満議員名簿（仮名入り）
議長・副議長	議事録閲覧議員名簿（議決入り）
議長交際費	議会運営委員会・常任委員会委員名簿
	会派別議員名簿
市議会とは	本会議・委員会
市議会の概要	令和3年郡山市議会6月定例会開催要綱
市議会の存在し	定例会日誌
市議会の主な日誌	本会議の日誌



新国会
福田 ふうた

文子 あやこ
議員



放課後児童クラブの料金改定の検討に至った背景について

問 国の補助基準による割合と、本市放課後児童クラブ料金の実情は、どのように異なっているのか。

答 国の補助基準では、運営コストの2分の1を保護者が負担し、残り半分を国・県・市が3分の1ずつの負担を想定しているが、本市は、平成17年度から16年間に渡り、利用料金を据え置いていることから、令和2年度決算ベースでは、施設整備等を除く運営コスト約5億1千400万円に対し、保護者の負担は約1億1千600万円、22.6%で、市は国の想定割合を大きく超えて負担している状況にある。



児童クラブで遊ぶ子どもたち

市道側溝と草刈りについて

問 感染リスクにより町内会の側溝清掃等の活動が実施困難で、市からも見合わせるよう話があると聞いているが、側溝の管理や草刈りの現状は。

答 道路除染完了後、町内会の側溝清掃を市民総ぐるみクリーンこおりやま運動に併せて実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度より運動を中止し、町内会の活動による側溝清掃や草刈りは、感染リスクの低減に配慮し、実施をお願いしている。

側溝の土砂堆積等の町内会の相談に対しては、市で状況を確認し、側溝清掃等を実施しており、町内会で実施した際には、市で土砂や草木等の回収を行っている。

廃校を活用した介護施設の公設民営事業について

問 入居施設をもつ介護施設の公設民営により、地域の高齢者が安心して住み続けることができ、その上、雇用の場を提供でき、地域的な不利を克服する手段となるが、検討を行うてはどうか。

答 介護施設の整備方針は、第八次市高齢者福祉計画・介護保険事業計画で民間活力導入を基本とし、入居施設については、公募により整備事業者を選定することとした。

今後も、民設民営事業の提案があれば、積極的に対応するが、公設民営事業の実施については、第八次計画の整備実績や旧三代小学校を活用した介護施設の運営状況、社会情勢等を踏まえ、整備手法の一つとして検討していく。



日本共産党郡山市議団

高橋 善治 たかはし よしはる
議員



路線バスの利用促進について

問 利用者の減少等で公共交通機関としての路線バスが縮小傾向にあり、高校生等のバス定期券購入費補助、障がい者就労支援施設利用者通勤費補助、75歳以上のバス無料化など積極的な対策をとるべきでは。

答 福島交通では子どもから高齢者まで利用可能でお得な料金設定を独自に行っている。

今後も公共交通の利用方法等について、事業者等との連携により周知に取り組みとともに、福島交通等との協奏の促進、鉄道、タクシー事業者を含めた公共交通の利用促進について、郡山総合都市交通戦略協議会の中で議論していく。





志翔会 久野 三男 議員



郡山駅東地区の指定避難所について

問 芳賀小学校と芳賀公民館は浸水地域であり、洪水の時に避難所として開設できない。地域に拠点となる避難所が1か所で、その他の避難所はその都度指示されるということでは、混乱が生じると考えるが、今後どのような対応をしていくのか。

答 垂直避難が可能である学校法人郡山学院と協定を締結し、新たな避難施設を確保するとともに、車中避難場所として株式会社ニラクとの協定のほか、市立美術館駐車場や緑ヶ丘の公共用地を確保した。今後、避難所となる民間施設の確保に努め、早めの避難所開設や避難の呼びかけなど、安全・安心確保のための避難体制の構築を図っていく。

自主防災組織の強化について

問 災害に強いまちづくりには、市民との連携が何よりも大事である。高齢化社会の進展による自主防災組織の共助体制の低下は深刻な課題であり、その対応についての見解を伺う。

答 防災対策の強化を図るため、引き続き、市民防災リーダー講習会や市総合防災訓練、防災士養成研修講座への参加さらには、きらめき出前講座を通じ、幅広い世代の方が興味をもてるよう、学校や企業へ自主防災組織の役割や活動を周知する。また、自主防災組織のあり方についても、引き続き研究している。

また、自主防災組織のあり方についても、引き続き研究している。



郡山市議会公明党 小島 寛子 議員



医療的ケア児等支援事業の効果について

問 本市は、昨年、医療的ケア児等コーデイネーターを配置した相談窓口を開設しているが、事業実施による効果はどのように考えているのか。

答 本市は、医療的ケア児等や保護者が抱える様々な相談内容に対応するため、医療的ケア児等支援事業を行っており、今年8月末までに相談実人数は93人、関係機関等との調整を含めた対応件数は、延べ741件となっている。今年度は、市医療的ケア児等支援調整会議を設置し、(仮称)医療的ケア児等版退院調整ルールを策定、年内に運用を開始する予定であり、今後支援体制の構築を進め、安心して在宅生活が送れる環境整備に取り組んでいく。

今年度は、市医療的ケア児等支援調整会議を設置し、(仮称)医療的ケア児等版退院調整ルールを策定、年内に運用を開始する予定であり、今後支援体制の構築を進め、安心して在宅生活が送れる環境整備に取り組んでいく。

多胎ピアサポート事業について

問 多胎児の育児経験者家族との交流会や相談事業等を実施する多胎ピアサポート事業の本市の実施について見解は。

答 本市は、多胎妊婦の不安を解消するため、妊娠届を受理した際に、妊娠・出産・育児支援に関する情報を掲載した「ふたご手帖」の配付を、今年度から開始した。また、多胎児を抱える保護者同士のサークルを健診等の機会に紹介もしている。今後は、支援ニーズの把握に努め、交流等の場の設定、家庭訪問型支援等の実施を検討していく。

今後は、支援ニーズの把握に努め、交流等の場の設定、家庭訪問型支援等の実施を検討していく。



ふたご手帖



緑風会 名木 なぎ

敬一 けいいち 議員



廃校施設の現状と今後の利活用について

問 本市では、様々な廃校施設が利活用されているが、現時点で未活用の施設について、今後の利活用の見通しは。

答 未活用の廃校は旧月形小学校など6校であり、建物の老朽化の程度や耐震性の有無など状態は様々であることから、それらに応じた検討が必要である。

このため、比較的条件が良く、早期に取り組むことが可能な施設については、民間等の活用に向けて条件整備を進めるが、老朽化が著しいものや土地の権利調整が困難なものなど、利活用を図るにあたって課題を有する施設については、建物の解体についても視野に入れながら検討していく。

東部幹線久保田工区・水神山工区について

問 夜間に市民が徒歩や自転車等で利用することを考えると、照明設備の新設など早急な対策が必要では。

答 現在、交差点部を照らす局部照明は設置されているが、それ以外のところには設置されておらず、現地の地形等の関係もあり、夜間は歩道が薄暗い状況となっている。

このため、「市民が安全に安心して暮らすことができるまちづくり」セーフコミュニティの観点からも対策が必要であると認識していることから、道路管理者である県と道路照明の設置について協議していく。



東部幹線久保田工区・水神山工区



国民民主党

渡部 わたべ

龍治 りゅうじ 議員



アリーナ計画について

問 旧豊田貯水池利活用特別委員会の参考人からの意見は、コンベンションや音楽、スポーツ施設など、多目的アリーナの要望が多く見られた。

国の「スタジアム・アリーナ改革の実現に活用可能な施策」を使って、本市の大改革を構想してみたいかがか。

答 持続可能なまちづくりを進める本市としては、気候変動に対応したまちづくりの推進が重要であると認識しており、旧豊田貯水池の利活用についても、敷地内に降った雨を緑地にゆつくりと浸透させ、水害を抑制するグリーンインフラの考え方を示している。今後も、市民の意見を聞きながら、利活用について慎重に検討していく。

情報セキュリティ会議の最高責任者の責任について

問 情報セキュリティ会議の最高責任者は副市長であるが、万一、個人情報や行政情報が当局や第三者によって外部に漏えいした場合、今後どのように責任を果たすのか。

答 情報セキュリティを高いレベルで確保し、様々な脅威を想定した抑止、検知、回復を実施するほか、毎年全職員を対象に研修を実施している。また、万が一を想定し、関係機関への報告や被害を最小限に留める対策を講じ、再発防止にあたるなどの備えを行っており、これらが最高責任者としての責務と認識している。





新 政 会 栗原 晃
くりはら あきひろ
あきひろ 議員



ごみ出し支援制度の導入について

問 本市も国が公表した「高齢者のごみ出し支援制度導入の手引き」を参考とした、高齢者等のごみ出し支援制度を導入すべきと考えるが見解は。

答 国によれば高齢者のごみ出し支援事業を実施している自治体は34.8%となっており、自治体の状況により様々な形態で取り組まれている。

本市のごみ出し対策は、高齢者在宅生活支援事業や介護保険、障がい福祉サービスにおける生活援助等がある。

他市の事例も参考に、関係部局と連携を図り、地域特性を踏まえた支援制度を検討していく。



医療的ケア児支援の災害時のガイドブックについて

問 つくば市は、災害時の電気機器の停止が在宅の医療的ケア児の命に関わるため、「災害時対応ガイドブック」を作成し、適切な処置が受けられるように「災害時対応ノート」も配布しており、本市も作成すべきと考えるが見解は。

答 本市においては、本年4月、医療的ケア児等に対し、支援体制を整備することを目的に、医療・保健・福祉・教育等関係機関で構成する市医療的ケア児等支援調整会議を設置し、(仮称)医療的ケア児等版退院調整ルールの策定を進めている。

災害時のガイドブックについては、本調整ルールが完成後、市医療的ケア児等支援調整会議等で検討していく。



新 政 会 石川 義和
いしかわ ぎわ
ぎわ 議員



保健所体制の強化について

問 新型コロナウイルス感染症対応のため、4月の組織改編で新たに保健・感染症課を設置したが、更なる体制強化を図るべきではないか。

答 7月以降の感染拡大期においては、保健福祉部内の保健師や事務職員の応援、他所属職員の兼務発令による増員、県をはじめ近隣自治体や民間医療機関の協力により強化が図られたほか、業務運用の見直しにより、ひっ迫する保健所業務に対応してきた。

今後も、有事の際は、横断的な応援体制や優先すべき業務の効率化等を図り体制強化に努める。



郡山市保健所

屋外分煙施設へのたばこ税の積極的活用について

問 令和2年1月23日付け国の事務連絡で屋外分煙施設等の整備を図るため、積極的な地方たばこ税の活用検討を要請された文書についての見解は。

答 市町村たばこ税は、普通税と定められており、その税収は、使途が制限されず、幅広い目的に活用できる一般財源とされている。

国の事務連絡は、国全体の地方たばこ税の税収が減少傾向にあること、平成30年に受動喫煙の防止を図るため健康増進法が改正されたこと等を背景に、地方たばこ税の安定的な税収確保を図りつつ、屋外分煙施設整備等の受動喫煙対策を行う際の財源措置に係る留意事項と認識している。



虹とみどりの会

蛇石

郁子 議員



解体撤去事前調査のアスベストへの対応について

問 福島県沖地震の解体撤去に係る事前調査で、レベル1、2の石綿含有建材を使用していた件数とその後の対応は。

答 事前調査をした71件中、レベル1は2件、レベル2は0件、レベル3は6件で、63件は使用が確認されていない。

レベル1の石綿含有建材の除去は、現場で外部への飛散等防止、労働者へのばく露防止を図り、また、作業計画を労働基準監督署等に提出し、対策の確認を受け作業を行う。

その後、作業場内等をモニターし、取り残しや大気中への飛散等が無いことを確認後、建物を解体する。



レベル1の石綿含有建材の例

※掲載写真は、国土交通省「目で見えるアスベスト建材(第2版)」12頁から引用

会計年度任用職員に対するメンタルヘルス対策について

問 多発する災害やコロナ禍などにより自治体職員のメンタルヘルス対策として、国が実施した調査は、対象者が首長部局の正規職員であった。会計年度任用職員に対するメンタルヘルス対策は、どのようになっているのか。

答 本市では、全職員にストレスチェックを実施し、ストレスが高い職員には精神科医による面接指導を行っている。また、保健師等による面接相談や療養休暇等取得職員に対する職場復帰の支援等により再発防止を図るなど、総合的なメンタルヘルス対策に取り組んでいる。

議場見学



7月2日に安積第二中学校1年生、13日に湖南小中学校7年生が議場を見学しました。前半は、議会の役割や仕組みなどについて、広聴広報委員からの説明を受けました。

後半の模擬議会では、市長・議長・議員の役割に分かれ、学校の窓に網戸を設置することや、eスポーツ部の創設、こどもでも働ける仕事を作ることなど、生徒が自ら考えた議案を提案し、電子採決を体験しました。



自ら考えた議案を演壇で提案

議場見学の申込は、議会事務局へお問い合わせください。

広聴広報委員会



委員構成が変わりました。議会だよりや議会報告会をはじめ、今後も本市議会の広聴広報活動の充実に努めてまいります。

■所掌事務

- ・ 議会だよりの編集発行
- ・ 議会報告会及び意見交換会
- ・ 議会モニター
- ・ 議場見学

委員紹介

副委員長					委員長	
蛇石 郁子	箭内 好彦	渡部 龍治	吉田 公男	山根 悟	森合 秀行	森合 秀行
岡田 哲夫	福田 文子	名木 敬一	三瓶 宗盛	柳田 尚一		

※議席順

12月定例会開催予定

※正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更になる場合があります。
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

日	月	火	水	木	金	土
				12/2	3	4
				本会議一開会	議案調査（休会）	休会
					※陳情締切	
5	6	7	8	9	10	11
休会	議案調査（休会）	事務整理日 （休会）	本会議（市政一般質問）			休会
			※請願締切			
12	13	14	15	16	17	
休会	本会議 （市政一般質問）	常任委員会		事務整理日 （休会）	本会議一閉会	

- ・本会議の様子をインターネットで生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く。）でも御覧いただけます。
- ・録画中継は、生中継の4日後（土・日曜日及び祝日を除く。）から公開します。



市議会中継 QR コード

議会の傍聴



本会議や委員会の様子は、どなたでも御覧いただけます。
議会の傍聴は、市政の運営を知り、市民の皆さんが選んだ議員の活動状況などを理解する一つの方法です。



	本 会 議	常 任 委 員 会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始 30 分前から	会議開始 40 分前～20 分前

政務活動費の情報公開

政務活動費の更なる透明性の確保を図るため、次の場所で収支報告書や領収書を公開しています。

- ・市政情報センター（本庁舎1階）
- ・議会事務局（西庁舎6階）
- ・市議会ウェブサイト

こおりやま市議会だより

- 行政センター、公民館、図書館などの公共施設に配置しています。
- 視覚が不自由な方のために、点字版・音声版を発行しています。

市議会のはなし

市議会のしくみを分かりやすくまとめた冊子を発行しています。

議会報告会・意見交換会を開催します!

■開催日時

令和3年11月13日(土)13:30~15:00

■会場

郡山市総合福祉センター5階 集会室

■定員

30 名程度

■その他

- ・市内在住者が優先となります。
- ・事前にお申し込みされた方が優先となりますが、席に余裕がある場合には、当日参加も可能です。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、中止となる場合があります。



みなさまの御参加をお待ちしています!



開催内容

<議会報告会> 13:30~14:00

定例会の概要や各常任委員会、決算特別委員会など、議会の状況について報告します。

<意見交換会> 14:10~15:00

「防災力の向上」をテーマに、参加者と議員が少人数グループに分かれて意見交換を行います。

議会報告会・意見交換会 参加申込書

QRコードからも
申込できます



【申込先】郡山市議会事務局 TEL:024-924-2521 FAX:024-938-2810
メール:soumugiji@city.koriyama.lg.jp

住所	〒	年代	<input type="checkbox"/> ~20 代
氏名			<input type="checkbox"/> 30 代
電話番号			<input type="checkbox"/> 40 代
			<input type="checkbox"/> 50 代
			<input type="checkbox"/> 60 代
			<input type="checkbox"/> 70 代
			<input type="checkbox"/> 80 代~
メールアドレス		性別	任意記載 男・女

- ・御記入いただいた個人情報は、議会報告会・意見交換会、新型コロナウイルス感染症拡大防止以外の目的には一切利用しません。

編集 後記

表紙写真は、開成保育所の様子です。今定例会では、開成保育所の定員増と配慮の必要な児童の支援強化を目的に増築する予算が計上され、可決されました。

誰もが安心して子育てできる環境に向けて、議会としても引き続き、市に提案をしてまいります。また、市では新型コロナウイルスのワクチン接種についても、11月末を目途に市民全体の約80%の方が接種を完了できるように取り組んでいるところです。市民の皆様には、基本対策に引き続き御協力いただきますが、安心して暮らせる郡山を皆様と共に築いてまいります。(山根)